

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・秋の行楽シーズンや運動会等のイベントが地域で行われていたため、来客数が多くなり良くなっている。
		その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	単価の動き	・葬儀の依頼や相談が多い。
		衣料品専門店 （統括）	販売量の動き	・例年、夏から秋にかけてお祭りシーズンとなるため、当店の販売量は多くなる。ただ、最近では個人で購入する若い人が少なくなっている。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・最量販車種のフルモデルチェンジが8月末にあり、新車効果が出ている。
		乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・製造業を中心に、景気は良くなっているようだが、自動車業界はハイブリッド車を中心に、販売が横ばいである。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・県外客用にメニューを限定したのが影響したのか、県外客の入りが良い。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数はそれほど変わらないが、焼酎などで高めの物がよく動くようになっている。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・9月は前年比で105%以上になる予想である。地域全体でも、今年は前年比で確実に100%以上になるとみている。要因は様々あるが、当地では緩やかに景気が戻ってきている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・名刹の改修完了や鉄道会社の新たな取組が功を奏して、堅調に推移している。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・台風が3連休に直撃し、入園者数に大きな影響が出たものの、前年を超える来客数となっている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・予約状況は、3か月前と比較してますますで、前年は下回っているものの、良くなっている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者や建設業者の話では、そこそこ忙しいようである。当社の周りでも住宅が建設されている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・時として良い波もあるが、1か月を通してみると、来客数は少ない。より良い物を求めてるといっても、必要に迫られての購入である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・天候不順で商店街イベントが中止となった。人出を期待し、売上に結び付くかと当てにしていたが、残念な結果である。
		商店街（代表者）	単価の動き	・今の客は余分な物は買わないため価格競争となり、どうしても単価の安い物に集中するので、商売は大変である。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・前月に続いて天候不順の影響が本当に大きい。しかし、最近はいくらか安定してきている。また一方で、北朝鮮のミサイルに対する不安が、客からは見受けられる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・2011年の完全地上デジタル化放送に伴う家電エコポイント制度利用で購入した、液晶テレビの買換え需要が少しずつ出てきている。ただし、当時より単価が下がっており売上増には至らない。利益率も低く、厳しい状況は続いている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客の購入意欲は、あまり良くはない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・購入の仕方は、相変わらず慎重というか、余計な物は買わない。新しい物や珍しい物は、比較的好調に売れている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・景況感に改善はみられず、厳しい状況が続いている。特に、ミセスからシニアを対象としたアパレルを中心に、中間層の不調が顕著である。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・食品、化粧品などの消耗品は堅調に推移している。衣料品も残暑が厳しくないため、秋物が少しずつ動いているが、前年の売上を上回る勢いはなく、店全体では3か月前と変わらない。	
	百貨店（店長）	販売量の動き	・売上の大きな落ち込みはないものの、同様に伸びもない。主力である婦人服の落ち込みは止まっているが、伸びてはいない。	

百貨店（副店長）	お客様の様子	・以前は、人気催事やカード施策を集中させれば来客数や売上に大きな山を作れたが、最近はその山が低く、更に長続きしない傾向にある。富裕層の消費意欲は減退しておらず、実際に驚くような金額の大口受注も受けているが、いわゆる中間層は、今一つ盛り上がり欠ける状況が続いている。良いとも悪いとも判断しかねるといのが正直なところである。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・7月以降、来客数の減少があり、売上にも影響している。
スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・既存店での売上は前年並みで推移しているものの、集客が今一つ伸び悩んでおり変化がない。以前に比べてイベントの集客は良くなっているが、買上個数等、想定した数字が作れない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年同月と比べて、今年は雨が少なく天候の良い日が多かったため、客が来てくれている。
コンビニ（店長）	競争相手の様子	・競合他社が新規出店した影響で当店は厳しいが、景気自体は、特別大きな変化はしていない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車効果もあまりみられず、中古車販売も決して好調とはいえない。今月は車検や一般整備の目標を達成できないでいる。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・この数か月、景気が上向くでも下向くでもなく、景況感に変化がない。これでよしとするか、そうではないとするか、希望を持ってないのが辛い。当地ではチェーン店を中心とした飲食業が微増するくらいで、一般小売は良くない。また、製造業で良いのは大手のみで、2次下請以下は楽ではない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・当社の自動車販売と車検、サービス関係、いずれも一応販売目標金額がある。目標金額に近くなるぐらいの売上はあるものの、新車販売は輸入車、国産車共に売行きが相変わらず鈍い。その代わりに、中古車販売と車検、一般整備の入庫は順調である。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・特に目立った販売や人の動きはない。良くも悪くもない。若干下がり気味だが、自助努力で、なんとか維持している。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・単価の下落は微減ながら続いており、来客数の伸び悩みとともに、不安要素は多々ある。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・来客数の減少は続き、1人当たりの買上点数も伸びない。必要な物以外の購買は抑制されている。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は微妙に減少しているものの、大きな減少幅にはなっていない。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・8月に好調であったレストランの売上は落ち着いている。例年、秋に増える法事の件数が増えない原因は、夏場が比較的涼しかったため葬儀が少なく、四十九日法要が減っているためではないか。宴会の予約件数は例年並みに戻ってきている。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・休日にある程度の来客はあるが、観光客というよりは、近郊の家族連れが多いようである。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・当ホテルの客の反応を見る限り、宿泊料金等に対する反応に変化はみられない。通年同一料金を行っているが、客離れ等の現象は起きていない。近隣同業者にも大きな値引き等の動きはみられない。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・9月は例年落ち込みがみられるが、今年は旅行代理店、インターネット予約を中心に安定した稼働を維持している。
都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・夏場を過ぎ、人の動きもやや良くなり、若干持ち直しつつある。これから、食欲の秋に向けて営業を徹底していきたい。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・今月中旬から昼の動きが悪く、前年同月と比べて3%の減少である。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・相変わらずの不景気続きである。さらに、東日本大震災以降、分割で支払っていた消費税や雇用保険料が、一括徴収に切り替わった。地方の中小零細企業は続けていけるのだろうか。
遊園地（職員）	来客数の動き	・各種イベントの実施等により、前年実績は上回っていたが、台風の影響により来客数が伸び悩み、3か月前の推移と変わらない。
ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・予約は順調に推移しているが、土日を含めた休日の若いゴルファーの姿が少なく、将来の不安材料である。

	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほとんど変化がみられないからである。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・いまだ残暑が続いており、当店の来客数は前月と変わらないが、客の要望は少しずつ変わってきている。以前はカット、パーマ、ヘアカラーなどを希望していたが、最近ではエステ、メイク、ネイルを希望する客が徐々に増えているため、単価が上昇してきている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・当地の祭礼時には、交通規制のため当店は午前中のみ営業となるにもかかわらず、多くの来客がある。ただし、祭礼後には街が死んだように静かになり、人の往来も少なく、客足が回復するまでに少し時間がかかる。売上もそれに伴って減るが、1か月を平均すると変わらない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・繁忙だった8月の反動が9月に出る。今年は例年以上に売上が落ちており、街のイベントへの人出は多いものの、個々の店の売上につながらない。くたびれ儲けとやゆされても仕方ない。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	・来客数は、例年どおりの数、動きになっている。単価も横ばいのため、相対的に販売量も横ばいで、変わらない。
	その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・イベント時の相乗効果はあるものの、普段はあまり変化がない。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・物件数が多く、対応は遅くなっている。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・ある物件の見積合わせをしたが、想像以上の安値を提案してきた会社が数社あった。建設価格の上昇といわれているが、実態はどれも物件が少ないようである。
	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・5月以降、来客数が横ばいとなっている。たまたまかもしれないが、成約率は上がっている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・貸店舗等については、今月も泣かず飛ばずで、引き合いがない。特に事務所系は、ほとんどないと言ってもよいぐらいである。たまに、スナック等の問い合わせがあるが、飲食店ビルの方が、多少は良いようである。不動産も本当に安い物件の引き合いはあるものの、その他はない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・今年の9月の祝日は、大型連休とならなかった上に、長雨や台風の影響で客の出足が良くなかった。
	一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・大雨が降ったり、いろいろと大変な今月だったが、今日は天候も良く、客が結構来ている。地元の名刹の修理が終わり、観光客もやや増えている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・客単価が低くなっている。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前月も前年と比べて悪かったが、今月も9掛けで更に悪くなっている。衣料品、住居用品、食料品の全てで前年を下回っている。来客数も前年割れで、悪化傾向にある。
	スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・客の購買力が落ちているため、多くの競合店が必要以上の安売り合戦を始めている。その波は大手から始まり、地方のショッピングモールまで広がっている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の進出により、やや悪くなっている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は気温が低く、天候も不順で客足が伸びていない。特に、夜中の客足の伸びが悪い。前年より、売上は1日3万円減、来客数は1日当たり平均60名減、1か月で100万円前後のマイナスとみている。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・金額で前年を上回ったのはテレビとクリーナーで、他の耐久消費財の冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは天候不順の影響で振るわず、全体では前年比90%である。
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・残暑があり季節商材の動きが良かった前年と比べると、やや悪い。
	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	来客数の動き	・真夏の減少による消費不振が、初秋に入っても好転しない。前年は映画の大ヒットにも恵まれ、来客数は安定していたが、本年はヒット作も少なく、客の来店動機自体が低調である。前年の反動で、飲食店関連もこの上半期で最も低調に終わっている。
	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・ランチ、ディナーの価格と共に、少しずつ客単価が下がっている。

	スナック（経営者）	お客様の様子	・総選挙、北朝鮮問題と、悪い話ばかりでどうしてよいか分からない。
	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・今月中旬の台風によるキャンセルが痛手である。その後も来客数は伸び悩み、インターネット予約も今一つである。
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・秋の宿泊予約の入る時期である8月下旬から9月中旬は天候不順や台風の接近などがあり、行楽に行きたいという動機付けに欠けたためか、動きが悪い。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・県内に3店舗あり販売の動きからみると、売上、稼働は3か月前と比べて、軒並み落ちている。9月ということを考えて、ホテルによってはばらつきがあり、良いホテルは良いが、悪いところは落ちている。ただし、全体的に落ちてきているところが気になっている。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内旅行は長雨、大型台風等により、旅行に対する消費意欲が減少し、受注が激減している。また、海外旅行は北朝鮮情勢が不安定で、渡航を自粛する動きがみられる。
	タクシー運転手	お客様の様子	・昼間もそうだが、夜間の人通りがなくなってしまっている。電車からはかなりの人数が降車しても、タクシーを利用する客が少ない。タクシー業界に限れば、景気は良くない。
	タクシー運転手	販売量の動き	・お盆明けからかなり成績が悪い。今のところ、前年比1割減くらいで、特に、夜の動きと単価が悪い。
	タクシー（役員）	それ以外	・ドライバーの確保が難しくなっている。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・保留、解約の増加傾向が続いている。
	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・11月の新機種発売まで、客は様子見で購入を控える動きである。
	通信会社（局長）	それ以外	・長雨の影響で旅行を控えている客が多く、ホテル業等は不振となっている。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・なんとなく売上が弱含みである。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	それ以外	・地域のガソリンスタンド、コンビニ、フランチャイズレストランなどの退店が目立つ状況が続いている。消費が振るわない現状を映している。
	x	*	*
企業動向 関連  (北関東)	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・全体的な仕事量の増加に伴い、協力工場では処理能力に対して100%以上の受注を抱えるところが増え始めている。客の納期に合わせた作り込みが支障が始め、休日出勤での対応を余儀なくされている。
	その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・9月の太陽光発電事業の売上は、日射量が少なかったため、売上減である。10月決算に向けては、前年比20%増の予定である。
	食品製造業 （営業統括）	受注量や販売量の動き	・スパークリングワインが順調に伸びており、他のスタンダードワインの注文も、前年を上回っている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先数社のうちの1社だけだが、ものすごく状態が良く、前年から2～3割、仕事量が増えている。他の取引先は横ばいだが、好調な会社が群を抜いて伸びているので、当社も伸びている。しかし、周りを見ると仕事がなく困っている会社が多い。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・北米向けの輸出、販売が増えている。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・売上の95%を公共工事が占めている。現政権の誕生後は公共工事が順調に推移している。前政権時は、「コンクリートから人へ」の政策のもと、公共工事は悪者扱いされ建設業は冷遇されていた。今期の公共工事発注は、前年比20%増だが、前々年と比べると2%減と前年が厳しい発注であったことが分かる。当社も前年比10%増の受注だが、決算年度でみると、前年受注となるので、今年度決算は厳しい数字になるとみている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・海外の景気動向が良くなってきていることに加え、国内の季節的要因もあり、国内景気は徐々にではあるが、良くなってきている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・ここ数か月、低迷が続いており、大変厳しい状態である。

	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・多少動きが出てきている。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前から非常に景気が良く、今も変わらない状態である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この1年、主要取引先からの電話機組立業務受注が、4分の1まで減っている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月、取引先、競争相手等の様子はあまり変わらず、売上も横並びである。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月中旬に、国内各地で宝飾展示会が企画されたが、マスコミの台風に関する過剰な報道のため、来場客は大幅ダウンした。ただし、売上は微減で、市況は多少、回復基調なのではないか。相変わらず、卸販売では問屋の仕入意欲はない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年は暑い日が多かったが、今月は冬物衣類や暖房家電、インテリアなどの動き出しが早い。特に、インターネット通販関係の物量が増えている状況だが、全体的には前年並みである。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・天候不順の影響や2極化の動きもあるが、製造業全体の景況感は改善傾向にあり、総じて横ばいの状況である。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・前月と同程度の業務量であり、単発業務や受注もなく、横ばいである。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比92.4%と、依然として回復の兆しはみえない。その一方で、設備関係の企業では、人手不足で利益も低いため、仕事の依頼を断るケースも出ていると聞いている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・夏から秋への端境期で、各地の商業地、観光地への人出が一段落し、例年並みの消費活動のレベルである。雇用は依然として企業の手不足感があり、解消できていない。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・以前と違い、少し良くなっている。また、この先も少し良くなっていくだろうとみているが、やや良くなっているという選択肢までは、いかない。
	社会保険労務士	取引先の様子	・売上は伸びそうだが、人手不足で売上の思うように伸ばせていない事業所がある。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注、販売共に、特段変化はみられない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・長期的な仕事がなく、短期、低コスト、少量の生産が続ぎ、厳しい状況になってきている。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が少なく、発注量全体も前年より減っている。
	×	×	×
	×	×	×
雇用 関連  (北関東)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が上昇している。特に、製造業を中心に求人数が増加している。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・天候不順ではあったが、暑さは結構厳しく夏物衣料、生鮮食料品等は、一進一退であるが、物はそろっていたようである。住宅関連は建設業も含めて、一進一退である。建築等の増改築が、やや目立っている。製造業は、募集も落ち着いている。ただし、介護、教職関係の募集は依然として活発である。
	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・季節的な影響を除けば、求人数は一定である。
	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・正社員での就業希望はあるものの、諦めている方も多い。先行きが不透明なためか、慎重にならざるを得ないようで、スキルのある方もいるが、求める条件も高い。また、60歳を超えた方からの問い合わせもあり、年金受給に不安を抱えているようである。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・求人数も少なく、業種業態を絞った募集が多くなっている。その結果、マッチングが成立しないため、いかに人材がいなかったかを客に説明することに終始している。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・今月は求人誌の掲載企業が、2～3か月前より15%ほど多い。製造業の募集も増えている。全業種を通して、以前より正社員の求人募集も多くなっている。

	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業では、求人は堅調であるものの、全業種からみると一服感が広がり始めている。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数が増加傾向にあり、求職数は減少傾向が続いているため、求人倍率も上がるとみている。
x	-	-	-